

# 愛知県感染症情報

Infectious Diseases Weekly Report

平成 18 年 23 週(6 月 1 週 6/5~6/11)

平成 18 年 5 月分月報

(作成) 愛知県感染症情報センター

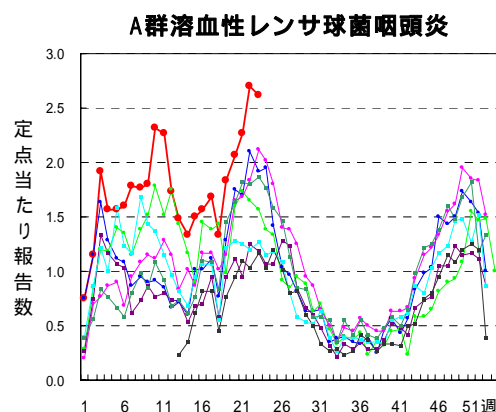
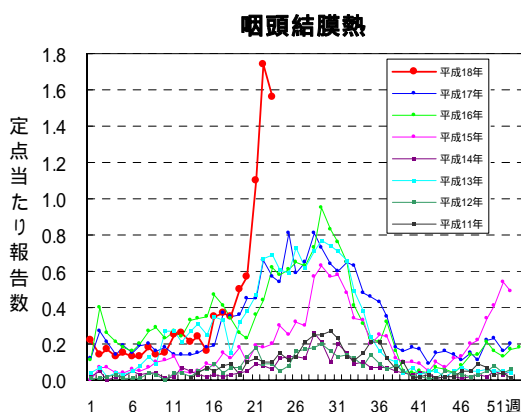
連絡先:052-910-5619 E-mail: [eiseiken@pref.aichi.lg.jp](mailto:eiseiken@pref.aichi.lg.jp)

## 今週の内容

- ・ 注意する感染症
- ・ 定点医療機関コメント
- ・ 病原体検出情報
- ・ 全数把握感染症発生状況
- ・ 平成 18 年 5 月分月報
- ・ 五類定点把握感染症報告数  
(保健所別、年齢別)

## 注意する感染症

- 1) **咽頭結膜熱** (<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/intou.html>)  
第 23 週の定点あたり患者報告数は 1.56 人で、前週比 0.9 倍 (316 人 284 人) です。
- 2) **A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎** (<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/yourenkin.html>)  
第 23 週の定点あたり患者報告数は 2.61 人で、前週比 1.0 倍 (490 人 475 人) です。



- 3) **手足口病** (<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/natsu.html>)  
第 23 週の定点あたり患者報告数は 3.12 人で、前週比 1.1 倍 (516 人 568 人) です。
- 4) **伝染性紅斑** (<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/ringo.html>)  
第 23 週の定点あたり患者報告数は 0.70 人で、前週比 0.7 倍 (177 人 127 人) です。
- 5) **ヘルパンギーナ** (<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/herpangina.html>)  
過去 8 年間の同時期と比較すると、定点あたり患者報告数は少ないですが、第 16 週から増加傾向です。第 23 週の定点あたり患者報告数は 1.18 人、前週比 1.3 倍 (162 人 215 人) です。

### 注意情報

5 月 25 日発表 (咽頭結膜熱・A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎)

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/hodo0525.pdf>

6 月 8 日発表 (手足口病・伝染性紅斑)

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/hodo0608.pdf>

愛知県感染症情報センター (<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>)

その他の疾病のグラフについては「グラフ総覧」(<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.pdf>)を  
ご覧下さい。

平成 18 年度疾患別ウイルス検出情報								
	感染性胃腸炎	手足口病	ヘルパンギーナ	咽頭結膜熱	流行性角結膜炎	無菌性髄膜炎	急性脳炎	インフルエンザ
患者数	37	31	4	4	20	5	1	3
PV-2	1	-	-	-	-	-	-	-
CV-A4	-	-	1	-	-	-	-	-
EV-71	-	6	-	-	-	-	-	-
Flu.B	-	-	-	-	-	-	-	1
Rota A-G1	5	-	-	-	-	-	-	-
Rota A-G3	6	-	-	-	-	-	-	-
Ad-1	3	-	-	-	-	-	-	-
Ad-3	-	-	-	-	1	-	-	-
Ad-5	1	-	-	-	-	-	-	-
Ad-6	1	-	-	-	-	-	-	-
Ad-41	1	-	-	-	-	-	-	-
検査中	13	25	3	4	18	5	-	1
陰性	9	-	-	-	1	-	1	1

PV-2:ポリオウイルス 2 型  
 CV-A4:コクサッキーウイルス 4 型  
 EV-71:エンテロウイルス 71 型  
 Flu.B :B 型インフルエンザウイルス  
 Rota A: A群ロタウイルス  
 Ad: アデノウイルス

平成 17 年度の疾患別ウイルス検出情報は HP をご覧下さい。

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/prompt.html>

## 定点医療機関コメント（名古屋市除く）

### 尾張西部地区

伝染性紅斑、溶連菌感染症が目立ちました。  
ヘルパンギーナ、手足口病が増え始めました。  
【一宮市 あさのこどもクリニック】  
水痘、アデノウイルス感染症、伝染性紅斑、感染性胃腸炎と種々ウイルス感染症が散見。

【一宮市 後藤小児科医院】  
病原性大腸菌O74 4歳男、2歳女  
マイコプラズマ肺炎 14名  
水痘がまた増加しています。

【一宮市 城後小児科】  
百日咳  
1)成人：東浜株160倍 山口株40倍  
2)9歳女：東浜株160倍 山口株20倍  
水痘、手足口病がまだ多い。

【一宮市 平谷小児科】  
今回の5例は全て咽頭結膜炎です。（アデノウイルス感染症）

【一宮市 ふなはし眼科】

アデノウイルス感染症は胃腸症状を伴うものがみられます。

伝染性紅斑が見られる様になりました。  
【犬山市 武内医院】  
手足口病多発、アデノ感染症も目立つ。  
水痘多発。

【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】  
手足口病、伝染性紅斑 流行しています。  
ヘルパンギーナも少しみられるようになりました。

【江南市 みやぐちこどもクリニック】  
嘔吐下痢を伴った胃腸かぜがまだまだ続いています。

【春日町 丹羽医院】

<STD定点コメント>

咽頭クラミジア (19歳)

【蟹江町 医療法人久保田産婦人科】

### 尾張東部地区

溶連菌感染、水痘、流行性耳下腺炎が多い。  
手足口病もみられます。  
感染性胃腸炎も多い。

【瀬戸市 津田こどもクリニック】  
手足口病、ヘルパンギーナ、水痘増加傾向。  
その他伝染性紅斑。  
全体的に外来は静かになりました。

【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】  
1歳男 カンピロバクター腸炎。

【豊明市 豊明団地診療所】  
インフルエンザBがまだ残っています。

【春日井市 春日井市民病院】  
水痘多数続いています。

ムンプス少々。  
リンゴ病がみられるようになりました。

【春日井市 朝宮こどもクリニック】

アデノウイルス感染症が増加傾向。  
ムンプス髄膜炎の入院あり。

【小牧市 小牧市民病院】  
伝染性紅斑、ムンプスの他にマイコプラズマ肺炎が目立ちます。

【小牧市 志水こどもクリニック】  
手足口病、伝染性紅斑、溶連菌、水痘相変わらず多いです。

【小牧市 医療法人心正会鈴木小児科】  
各種感染症 散発しています。(乳児～幼児)

【南知多町 医療法人大岩医院】  
手足口病小流行

【東海市 小児科ハヤカワ医院】  
4歳男 アデノ

9か月男 ロタ腸炎

【大府市 まえはらこどもクリニック】

---

## 西三河地区

---

2歳女、3歳男、4歳女2名、5歳男 Strep  
A (+)

9歳男 エスプラインインフルA/B  
(B+)

2歳女 E c o l i (O6)

【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】

アデノ陽性児5名

インフルエンザB1例女子

ヘルパンギーナが目立ってきました。

【岡崎市 花田こどもクリニック】

3歳女 病原性大腸菌O1、VT(-)

アデノウイルス感染症多いです。

手足口病増えています。

溶連菌感染症と伝染性紅斑 散見され  
ます。

【岡崎市 竜美ヶ丘小児科】

アデノ(+ )1歳男、1歳女3名、

4歳男2名、2歳男

1歳男 病原性大腸菌O18、O126、

O124(+ )VT(-)

カンピロバクター 4歳男、6歳男

【岡崎市 にいのみ小児科】

病原大腸菌O1 4歳女

病原大腸菌O111 6歳女

アデノウイルス感染症が多い。

【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】

溶連菌感染症、アデノウイルス感染症、手  
足口病 目立ちます。

【碧南市 永井小児クリニック】

咽頭結膜熱を含むアデノウイルス感染症  
4名。

【知立市 宮谷クリニック】

溶連菌感染症、手足口病が増えています。

【三好町 三好町民病院】

カンピロバクター 22歳女

【西尾市 やすい小児科】

3歳女病原大腸菌(O1、VT-)

5歳女病原大腸菌(O1、VT-)

アデノウイルス感染症(3歳女、3歳男、

7歳男、4歳女、5歳女、3歳女)

【幸田町 とみた小児科】

---

## 東三河地区

---

7歳男 カンピロバクター腸炎

水痘、感染性胃腸炎が流行しています。

【豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科】

水痘、依然として流行中

【豊橋市 あずまだこどもクリニック】

インフルエンザB型陽性 10名ですべて  
中学生でした。

【豊橋市 医療法人羽柴クリニック】

マイコプラズマ、水痘、ムンプス 多い。

【豊川市 豊川市民病院】

## 一 ～ 三類感染症の発生状況

- 愛知県(名古屋市を除く。) -

<関連リンク> 届出基準 (<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokedekijun060612.pdf>)

### 細菌性赤痢 (二類感染症)

番号	報告保健所	年齢	性別	発病月日	初診月日	診定月日	備考
1	知多	29	男	6/3	6/4	6/7	推定感染地域;カンボジア <22週報掲載分・再掲>

### 腸管出血性大腸菌感染症 (三類感染症)

番号	報告保健所	年齢	性別	発病月日	初診月日	診定月日	備考
1	衣浦東部	21	女	5/29	6/2	6/4	O121、VT2(+) <22週報掲載分・再掲 (O血清型判明)>
2	春日井	4	女	-/-	6/3	6/6	O111、VT(+型不明 <22週報掲載分・再掲>
3	知多	43	男	-/-	6/5	6/8	O157、VT2(+) 無症状病原体保有者
4	知多	33	男	-/-	6/5	6/8	O157、VT2(+) 無症状病原体保有者
5	知多	47	女	6/7	6/9	6/12	O157、VT1・VT2(+) <24週報告分>
6	春日井	37	男	6/8	6/9	6/13	O103、VT1・VT2(+) <24週報告分>

## 四類・五類(全数把握)感染症の発生状況

- 愛知県(名古屋市を除く。) -

#### アメーバ赤痢 2例

推定感染地域：国内、推定感染経路：経口 <22週報掲載分・再掲>

推定感染地域：国内、推定感染経路：不明 <24週報告分>

#### 後天性免疫不全症候群 2例

無症候期、推定感染地域：国内、推定感染経路：性的接触

無症候期、推定感染地域：ブラジル、推定感染経路：性的接触 <24週報告分>

#### 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1例

5 月の一～五類感染症（全数把握対象）発生状況

「診断日」に基づく集計です。

平成 17 年度に発生があった疾病名 内は全数把握対象疾病数		平成 18 年 5 月			平成 18 年度 累 計 (愛知県)	内訳 (5 月)
		愛知県 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県全体		
一類 感染症 7					発生報告無し	
二類 感染症 6	コ           レ           ラ				1	
	細   菌   性   赤   痢	4		4	7	
	腸   チ   フ   ス		1(1)	1(1)	2(1)	
	パ   ラ   チ   フ   ス		2	2	2	
三類 感染症 1	腸管出血性大腸菌感 染	9(4)	3(1)	12(5)	22(7)	0157 11 件 01 1 件
四類 感染症 30	E   型   肝   炎				1	
	A   型   肝   炎	2		2	2	
	つ   つ   が   虫   病				1	
	レ   ジ   オ   ネ   ラ   症	1	1	2	6	
五類 感染症 14	ア   メ   ー   バ   赤   痢	1	5	6	9	
	ウ   イ   ル   ス   性   肝   炎 (E 型 肝 炎 及 び A 型 肝 炎 を 除 く。)	1		1	3	B 型 1 件
	ク   ロ   イ   ツ   フ   エ   ル   ト   ・ ヤ   コ   ゴ   エ   ブ   病	1		1	1	
	劇   症   型   溶   血   性   症 レ   ン   サ   球   菌   感   染   症				1	
	後   天   性   免   疫   不   全   群 症                                    候	1	1	2	9	A I D S 1 件 無   症   候   性 1 件
	ジ   ア   ル   ジ   ア   症		1	1	2	
	梅                                    毒		3	3	11	早期顕症 1 件 無   症   候            2 件

( ) 内は無症状病原体保有者再掲

## 五類感染症（月報定点把握対象）発生状況

No	疾 病 名	平成 18 年 5 月			平成 18 年 4 月		
		愛知県 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県 全体	愛知県 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県 全体
1	性器クラミジア感染症	99	35	134	103	31	134
2	性器ヘルペスウイルス感染症	27	10	37	25	8	33
3	尖 圭 コ ン ジ ロ ー マ	39	13	52	27	8	35
4	淋 菌 感 染 症	55	28	83	56	26	82
5	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	76	4	80	62	4	66
6	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	4	2	6	2	1	3

上記の報告数は感染症月報指定届出機関( 性感染症 : 51、基幹 : 13 医療機関 ) で把握したものです。

### 感染症の類型及び定義

類 型	定 義
一類感染症 ( 7 疾病 )	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が極めて高い感染症。患者、疑似症患者及び無症状病原体保有者について入院等の措置を講ずることが必要。
二類感染症 ( 6 疾病 )	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が高い感染症。患者及び一部の疑似症患者について入院等の措置を講ずることが必要。
三類感染症 ( 1 疾病 )	感染力及び罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性は高くないが、特定の職業への就業によって感染症の集団発生を起こしうる感染症。患者及び無症状病原体保有者について就業制限等の措置を講ずることが必要。
四類感染症 ( 30 疾病 )	動物、飲食物等の物件を介して人に感染し、国民の健康に影響を与えるおそれがある感染症（人から人への伝染はない。媒介動物の輸入規制、消毒、物件の廃棄等の物的措置が必要。）
五類感染症 ( 42 疾病 )	国が感染症の発生動向の調査を行い、その結果等に基づいて必要な情報を国民一般や医療関係者に情報提供・公開していくことによって、発生・まん延を防止すべき感染症。





